

## 労働者は近づいた

(一)

メーデーが来た俺達労働者が日頃支配階級より虐げられ苦しめられた其鬱憤を思ふ存分發露して權力者階級の不合理なる支配に對し定期的に抗議し、そして俺達の覺悟と結束の偉力を示し且つ全無産階級の奮起を促進すべきメーデーは来たのだ。

(二)

歐米に於ては既に三十有餘年前より労働者は此日を祝福し又多くの労働者の血を流して来たのだが我國に於ては大正九年東京に於て第一回のメーデーを行ひ其翌年我大阪にも行はれて本年は其三回目である。兄弟よ此時に際し靜かに目を瞑つて俺達労働者が社會に於て如何に重要な地位を占むるのであつて而かも其生活たるや如何に惨めなものなるかを考へて見ようではないか。若しも俺達がハンドドルとパンチを置き、汽車汽船電信電話水道鑛山農業其他あらゆる産業に従事せる俺達の同胞が其働きを中止した時には一體社會はどうなると思ふのだ。ここへカイゼルが幾人あろう共又ロスチャイルドやカーネギーやロックフェラーや三井や岩崎や住友や安田や藤田や桂太郎や山縣有朋や其他之に類する支配階級の者共が幾人あろう其尻のつ、ばりにもならないのだぞ。だから人間社會の存立と其幸福の根本をなす者はカイゼルでもなくロスチャイルドでもなく又三井、住友、桂、山縣、ロイドジョージなどもなく、學者、軍人でもなく無論警察官の如きものではない。實に労働者其者より外には斷じて無いと言ふことが判るであらう。

(三)

處が斯の如く人間社會で最も重要な仕事に従事して居る労働者の生活を見る。鑛山や工場や街路に於て埃と汗にまみれ生命の危険すらも省みないさまもなく十時間も十二三時間も酷使されて疲れた身心を僅かに支へて家に歸つても其家は九尺二間の長屋で二家族も三家族も群居して床は萬年床蒲團は二三年も洗濯しない、センベイ蒲團疊は煤煙と埃で黒ずんで小兒の小便は垂れ流しと來て實に不潔と不便其ものではないか。こんな住居こんな生活でさうして俺達の疲れた身心を慰安することが出来るか。そして、遇々此憂鬱な生活を一時なり共忘れんが爲め新世界や千日前道頓堀に行つて見ても劇場も活動寫眞館も料理屋もカフェも何處も彼處も金額に依る階壁を設けられて俺達は何によらず極めて安穩な間に合はせて我慢させられて有産者共の傍若無人の豪遊を見せ附けられて居るのだ。

(四)

まだ之ばかりではない、日本にも俺達無産者の膏に汗で作つた大學が官立丈けでも五ツもあるが俺達や俺達の子弟は一人も入る事が出来ない。否大學どころか中學にすら入れないのだ。圖書館はあつても俺達には自由に研究する餘裕がない、しかし俺達も人間だから思索的創造的研究的精神の欲求はある。科學も哲學も音樂文學美術も味讀したい。そして時には宇宙や人生に就いて思索もしたいが不斷に飢餓の脅威に襲はれて居る境遇では之等の望みも叶はない。又鐵道が全國に敷かれても一等二等特急車等に乘つて各地に旅行して大自然の雄渾崇美を賞する事も不可能だ。俺達は三等車に乗つて旅行する事すら出来ない。俺達が汽車に乗る時は親兄弟の死亡か大病の時より外にはないのだ。汽船にしても其通りだ。一萬噸も二萬噸もの大船で大洋を横斷して歐米其他各地の山水自然や社會に接する者も俺達ではない。其他飛行機飛行船自動車無線電信電話三越大丸吳服店其他あらゆる機關を自由に利用する者も俺達労働者ではないのだ。俺達には別荘もない立派な郊外住宅もない病氣になつても設備の完全な病院へ入院する事も出来ない。た、俺達に有るものは無智と不潔と貧窮と不斷の生活不安即ち賃金奴隷の鐵鎖あるのみである。

(五)

おい兄弟、此世の中で一番大切な労働者が一番社會のどん底に置かれて苦しめられて此世の中で一番不要な搾取階級が一番榮耀榮華を極めて居ると言ふ今の世の有様は果して正義や人道の行はれて居る社會と言へるだらうか。俺達は長い間ブルジョアの道具化された宗教や教育と言ふものに依つて盲く誤魔化されて來たが今は斷じて然らず俺達は現實を直視し社會の真相を看破する事が出来たのだ。そして現代は少數の特權階級の自由や正義や人道や幸福の爲めに大多數の人類の自由や正義や人道や幸福が犧牲にされ蹂躪されて居ると言ふことが瞭りと判つたのだ。そこで俺達は此塵はれて居る人間當然の權利利益を奪還して正常なる人間生活を建設すると言ふことを最大最急の事業としなければならなくなるのだ。俺達が區々たる労働條件の改善即ち賃金の値上げとか時間の短縮とか共濟會や委員會の設置とか位に満足して居ては何時まで賃金奴隷の鐵鎖より解放される時は無いのだ。俺達労働者は組織され訓練されなければならない。而して一大團結を成就して行動する時、そこに初めて人間の眞の友愛と平和と自由の社會が建設されるのだ。